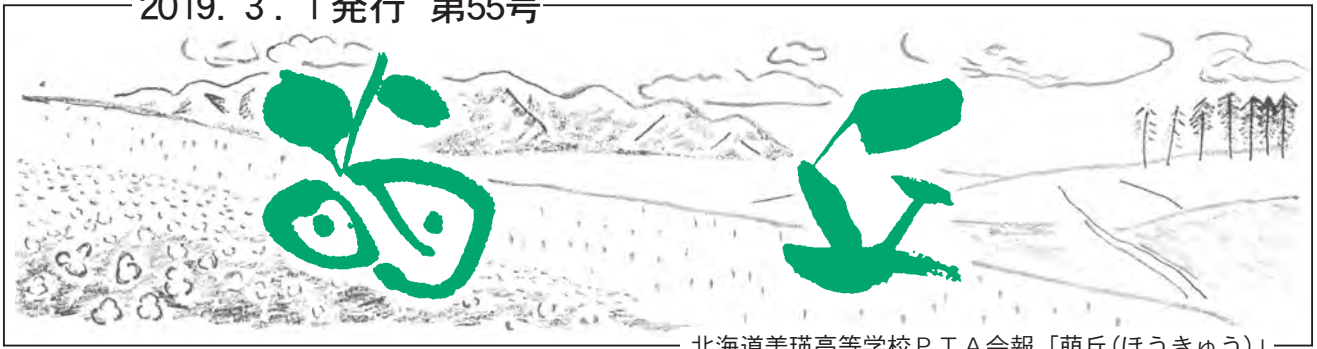




北海道美瑛高等学校PTA会報「萌丘(ほうきゅう)」
事務局 TEL 92 — 1054

三十年度を終えて

PTA会長 田野中 智昭

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。美瑛高校での高校生活に希望と不安を抱きながら入学され、あつという間の三年間だったでしょうか？

この三年間で、多くの友達や先生と色んな事があつたことでしょうか。

嬉しかったこと、悔しかったこととその一つ一つが思い出に、またその経験がこれからの人生に大いに役に立つと思います。

三年生の皆さんは美瑛高校を卒業され、進学、就職と進む道はそれぞれではありますが自分の選んだ道を信じて進んでいくことを願っています。

保護者の皆さんにおかれましては三年間色々な苦労があつたことと存じます。心身ともに成長した子供たちのこれからの活躍を期待し、温かく見守っていきましよう。

在校生の皆さんも心強い先輩が卒業を迎えるにあたりさみしく感じていることでしょう。二年生の皆さんも来年最終学年になります。自分で将来を見据え、勉強や日頃の生活に気を付け、希望する進路に向かって努力してほしいと考えます。一年生もインターシップ等で経験したことを活かし、将来の目標を見つけられることを期待しています。

また、PTA会員の皆様には四月のPTA総会に始まり、PTA交流会や学校祭、各種研修会にご参加や協力いただき感謝申し上げます。また、一、二年生の保護者の皆様にはこれからもPTA活動にご協力いただけます様お願い申し上げます。

PTA活動でこのようなことを行つてほしいなど要望がありましたら、会員の皆さんと共に良いものにしていきたいと考えておりますのでよろしく願います。

また、生徒が行っている地域ボランティア活動やインターシップ等で、協力いただきました企業の皆様にも、心から感謝とお礼申し上げます。

最後になりますが、校長先生をはじめ教職員の皆様には生徒に向き合い時には優しく、また時には厳しく指導していただきありがとうございます。



卒業生のみなさんへ

校長 越坂 直広

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の一人ひとりが、卒業後、自分の目標を芽吹かせ、未来に花開かせて欲しい。そして夢を描き、自信に溢れ、実り多い、幸福な人生を送ってもらいたいと切に思います。

幸せな人生を送るためには、変化の激しい、複雑で難しいこの時代の中で撃沈することなく、目の前の未知の課題に試行錯誤しながらもブレずに、毅然として対応していかなければなりません。この時に必要なが生きる力、そしてこの力を支えているのは「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」といった知・徳・体のバランスのとれた力です。

残念ながら我が国の子どもたちの真の学力(確かな学力)は十分ではありません。OECD(経済協力開発機構)が行っているPIISAという国際的な学習の到達度に関する調査など各種の調査から、我が国の子どもたちは知識及び技能は一定の成果がでていますが、思考力・判断力・表現力等を問う読解力や記述式問題、知識・技能を活用する問題に課題があるとされているのです。

今後の世の中は激変の時代を迎えることとなり、我が国にもそうした荒波が来ると思われます。

主体的に取り組む能力、人間としての感性、そして「思考力、判断力、表現力」などの能力、企画力や創造力などのクリエイティブな能力を磨かないと激しい変化に対応できない時代がくるということです。「知識・技能」だけでは新しい時代の変化についていけないのです。「思考力、判断力、表現力」などの「考える力」「創造力」(与えられた課題に対して粘り強く最後まで考え抜き、本質を見抜く力、自ら課題を見つけそれに対して独自の解決法を編み出す力)の力が必要になるのです。筋肉乏しい初心者がトレーニングで必要な筋肉を鍛え立派なアスリートになつていくのと同様に「考える力」は「生まれつきの才能」ではなく、筋肉のように意識的な努力・トレーニングで鍛えられるといえます。美瑛高生の皆さんも自分に自信を持って、「考える力」を鍛えて(鍛えられて)ますます逞しくそして幸せな人生を送って下さい。

最後にPTAの皆様並びに教育振興後援会、美瑛町、美瑛町教育委員会をはじめ、地域の皆様から感謝申し上げますとともに、今後とも本校の教育活動に一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

卒業を祝して

同窓会会長 橋本 正和

第五十七回北海道美瑛高等学校卒業生の皆様へ卒業おめでとうございませう。心よりお祝い申し上げます。高校生活三年間の思い出はたくさんあったと思いますが、これからは大切にして下さい。四月からはそれぞれの道を歩み出します。高校時代の友人を大事にして素晴らしい将来に向かって進んで下さい。最近十勝岳爆発の話題が報道されています。私も二回経験しました。昭和三十七年六月の時は高校三年生でした。数日前より山鳴りがあり爆発かと話をしていましたら夜中に噴火、火柱がはつきりと見えました。近所の人と集まり相談しましたが火口から遠く大丈夫という事で家に戻りました。朝噴煙が勢いよくもくもくと上がり見上げないとつべんは見えませんでした。この事は五十八年過ぎた今もはつきりと覚えています。次の昭和六十三年十二月の時は爆発も小さく防災体制も出来ていましたが、クリスマスの時にしたので大変でした。白金温泉地区は暫く休んでいました。その後、防災工事もどんどん進みましたがまだ残っているようです。その工事のおかげで偶然「青い池」が出来たのには吃驚しました。卒業生の皆さんもこれからの人生を歩んでいく上で楽しいことや辛いことを経験し、時には問題に直面する

こともあると思いますが、美瑛高校で学んだことを礎に正しい判断をし、その局面を乗り越えて欲しいと思います。美瑛町はとても素晴らしい自然環境に恵まれた土地です。そこで育った美瑛高校卒業生としての誇りを持ち、これからの人生を力強く歩んで欲しいと思います。最後に美瑛高校の同窓会は全国各地で活躍しています。何か困ったことがあるときはいつでも頼りにして下さい。同窓会の先輩は君たちとの出会いを大切にしていきたいと強く願っています。

卒業するにあたって

三年一組担任 伊藤 純一

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、本日の節目を無事に迎えることができたのも、保護者の皆様が三年間に渡ってPTA活動や学年・学経経営にご協力頂いたからであり、この場をお借りしてお礼を申し上げます。卒業式が近くなるにつれて、周りから「笑顔ない、表情ない、感情ない」の「三ない男」とよく言

われる私でも、三年間の成長の喜びと担任から巣立っていくことへの寂しさという相反する気持ちでいっぱいでした。

今から三年前、私がこの学校で三回目の入学式を迎えるとき、学年を落ち着かせる手立てに悩んだとしても、途中で投げ出さず「三年間面倒をみよう」と心に決めました。しかし、長年、美瑛高校で勤務をしているといつ異動の対象になってもおかしくないことから、途中で担任を降りるリスクがありました。その中で、「やらざる後悔するくらいなら、やって後悔しよう」と常に思いながら、新しい取り組みを始めていきました。幸いにも、キャリア教育の研究指定に当たっていたこともあり、自分が企画・立案する事項は多少の修正がかりつつも、関係部署の連携・協力もあり概ね実現することができました。

一年生の時には、インターシップ、地域巡検を主として取り組みました。指導する側も手探りで運営していく中、皆さんはその趣旨を理解し一生懸命取り組んでくれました。二年生では見学旅行のまとめとしてポスターセッションに取り組みました。ポスターセッションは、見学旅行の事後指導の計画を立てる際に、私が鈴木先生に無理を言って立案・実施したものです。一年生の時とは違い代表者ではなく、全員が自分自身の経験や見学旅行で得た知識などを土台とし、説明に必要な学術的根拠等を探し取捨選択して相手に分かりやすくポスターに表現するとい

う活動を行いました。ポスターを作成している様子をみると、担任が一から十まで説明・指示しなくても自ら考え作成し、想像を超える作品を仕上げてきたことに感動しました。入学したときには多くの問題を抱えている学年と言われていましたが、このような取り組みを行うときには、どの学年よりも主体的に活動し自分が納得するまで追求しながら行動していたと思います。

皆さんは、これから自分で決めた進路へ向かって歩き始めます。どんな環境の中でも「やらざる後悔するくらいならやって後悔」してください。ただし、全ての自分の気が向くままに行動して良いかというところでなく、「根拠を持った行動」と「理想を求める行動」を常に意識して行動してください。それらを意識して行動していれば、自分自身の成長とともに、周りも良い方向に向いていきます。これからの社会を支えていく皆さんの活躍を期待しています。三年間本当にありがとうございます。

卒業おめでとう

三年二組担任 鈴木 博明

三年二組の皆さん、卒業おめでとう。また保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業をお祝い申し上げますとともに、本校の教育活動に今日までご理解、ご協力を賜りましたことに、厚く御礼

申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。皆さんは今日から、「大人」の一員（あくまで「ひよっこ」としてですが）として扱われることとなります。自分の意志で、自分の足で、人生を歩んでいくことが求められます。そして、その歩みの途中で、大小様々数知れずの間違いをしでかしてしまふことでしょう。でも、そのことで、過剰に後悔したり、極端に自分を貶（おとし）めたりする必要はありません。いいんです、失敗しても。だって、まだまだ「ひよっこ」なんですから。周囲の先輩大人に尻ぬぐいをしてもらつたとしても、ちゃんと謝って、ちゃんとお礼を言えればいいのです。必要なのは、人や仕事に対して「誠実」であることだけです。「はあ、誠実？何、綺麗ごと言ってるんだよ」と、思った人も少なからずいると思います。でも、取って、この綺麗ごとを君たちへの餞（はなむけ）の言葉としたいと思っています。それは、もしもこの先、君たちが様々な困難や理不尽に見舞われ、途方に暮れてしまったとき、このキラキラワードを思い出してほしいからです。きっと、とても役に立つと思いますよ。じゃあ、皆さん、頑張つて。お元気で。



二年生に進級した頃には、学校の授業を落ちついて受けられるようになり、学校行事も楽しむことが出来ました。修学旅



▲3-1 音楽祭

私たちが入学してからの、三年間の学校生活は、とても充実した日々でした。ここまで来るまでに大変なことも、たくさんありました。特に学校祭では、大雨の影響で日数が減り、それでも皆必死になつて完成させたのを、つい昨日の事のように思い出すことが出来ます。

ですが、そんな日々もあつという間に過ぎて行き、気づけば卒業間近になっていました。

一年生の時には、まだ右も左も分からないようなスタートでした。毎日、学校の授業についていくのに必死で、時には、失敗してしまふ事もありました。時には、先生に叱られてしまふ事もあり、自分のダメな部分を痛感しました。ですが、ある程度学校生活に慣れた頃には、余裕が出来て、楽しくなってきました。



行では、原爆ドーム、厳島神社、京都など、様々な場所での色々な学びました。

三年生になつてからは、進路活動の大詰め時期でした。皆、自分の夢に向かって頑張りました。そんな中、学校祭、音楽祭などの大きな行事もありましたが、それでも一生懸命に取り組みました。それらの行事を乗り越え、球技大会も終わり、進路も決定し、残すは卒業のみになりました。

この三年間の日々は、とても長く感じていました。ですが、卒業間近になると、これまでの日々が、とても短く感じ、寂しく感じます。辛く苦しい時もあり、くじけそうになることもありましたが、それ以上に楽しい日々でした。

ここまで私たちを導き、見守ってくれた先生方には、感謝してもしきれないです。今まで本当にありがとうございました。これまでに学んだことは決して忘れません。



毎日いろいろな思いで登校してきた日々が、もう私たちにはなくなります。

初めて美瑛高校に登校してきた入学式。まだ慣れない制服と校舎で胸がドキドキしました。人見知りな私は、教室に入ることが怖くて、同じ中学校だった友達を見つけてから入ることができました。そして、その日はなんとか終わり、そこから学校生活が始まります。

最初は、みんな知らない人が多く、ギクシヤクシヤしていましたが、



▲3-2 音楽祭

が深まっていきました。しかし、仲が深まると揉め事が多くなっていました。そのたびに色々な人に助けてもらい、解決をしてきました。

二年生になり、最初で最後のクラス替えでした。クラスの名簿を見た時、「最悪」と思っていました。一年生に戻りたい、隣のクラスに行きたい、そんな気持ちでいっぱいでした。嫌でも卒業するまではこのクラスでいなければいけない、我慢しようと思えました。学校生活はやはりぱっとしないうところもありましたが、行事になると違いました。学校祭、揉め事はいつぱいしましたが、やる事はやってくる、そして一人一人個性のあるクラスだとわかりました。その姿を見た私は学級委員長をしてみたいと思い、後期からさせてもらうことになりました。

三年生。全部に最後とついてしまふ年になってしまった。思い出に残る一年にしたいと思い、行事には尚力が入りました。二年生の時は揉め事が多かったが、成長して少なくなっていました。球技大会はいまいちでしたが、それ以外では結果を残すことができ、とて

も嬉しかったです。ほとんどの行事が終わると進路に向けてやる事が多くなりました。そして、卒業後にそれぞれの道に進みます。

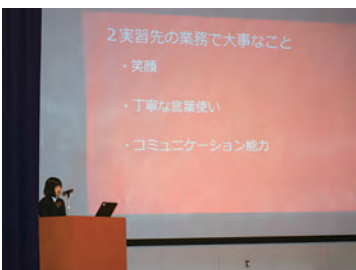
私の三年間は、良い事ばかりじゃなかったけど、嫌いだったクラスは今では大好きになり、思い出がいっぱいになりました。私を変えてくれた、二組と鈴木先生ありがとうございました。

インターシップを終えて

一年一組 中川 楓

私は、インターシップを「レストラン・アスペルージュ」さんで体験することができました。希望した理由は、もともと「食」の業界に興味があり、厳しい現場の雰囲気や、そこで行われている作業について、自分の目で見て詳しく知りたい、学びたいと思ったからです。

私が体験したのは一日だけでしたが、野菜の分別や、鶏ガラの皮と脂取りなど、たくさんの作業を



▲1-1 インターンシップ発表会

教えていただきました。実習した中で一番心に残ったことは、間近で前菜の盛り付けを見させていた

見たことと、調理をしている姿を見ることができたということ。一つ星レストランだからこそ体験できたことだと思いますし、緊張感の中で体験することができましたし、集中力がとても大切というのを身をもって知ることが出来ました。将来、調理の道に進んだら、私にしか表現できないことを実践し、年齢問わず笑顔に出来るようなお店を作りたいと思います。

今回の体験を通じて、日々自分を高め努力を怠らないよう、今後の学生生活を無駄にしないように過ごしたいと思っています。

インターシップから学んだこと

一年二組 山家 遥馬

私はインターシップで「協同組合大雪」さんに行きました。

ここを希望した理由は、私は将来美瑛町役場に就職したいと考えており、そのために美瑛町と関わりの深い林業について知りたいと思ったからです。インターシップは二日間あり、二日間とも午前中に木を育てている現場見学、午後からは、木材加工の工場見学と実習でした。

一日目の現場見学では東川に行き、重機についてと林業の仕組みについて知り、各機械の説明と林業と他の産業との繋がりについて

の説明を受けました。二日目は工場見学で東神樂に行き、実際に木を伐採や伐採した丸太の分別をしている所を見ることができました。午後は丸太の皮を剥き、製材の分別、運搬などの実際に工場で行っている作業をさせていただきました。私がこの二日間の中で一番印象に残ったのは、「木を伐採することとは、自然を壊すということではなく、自然を育てていく中で必要な過程。ただ、伐採したあとに木を植え直すなど、管理することが大切」という担当の方の言葉です。確かに木を伐採するだけでは、ただ自然が失われていくだけだと感じます。

しかし、その後に木を植え、伐採する量を調節するなどの管理をすれば、生活に欠かせない木材を生産しながら自然を守っていくことに繋がると、気づくことができました。

インターンシップで学んだ林業の重要さや他の産業の繋がり方をしっかりと理解し、将来の仕事の中でうまく活用できるよう努力していきたいです。



▲1-2 インターンシップ発表会

今年度の進路状況と 本校の進路指導について

進路指導部長 鉢呂 靖

平成30年度の卒業予定者は男子二十二名、女子二十三名の計四十五名です。進路決定状況は別表のとおりですが、進学者が二十三名、就職内定者が二十名（一月三十一日現在）となっています。本校は例年進学、就職がおよそ半々という状況ですが、今年度は若干進学者が多くなっています。進学者の希望者の特徴としては、ほとんどの生徒が学校推薦、AO・自己推薦での進学を希望し早々と合格を得ることができました。

一方就職は各企業の人手不足なども反映して今年度も求人倍率が良好でした。特に福祉・建築土木・運輸・製造系は学校にもたくさん求人が送られてきました。また例年美瑛高生は地元志向が高いのが特徴ですが、今年度の民間就職者は全員、美瑛・旭川近郊の企業に就職をする予定です。

ここまで今年度の進路状況を説明しましたが、卒業生を見てきて、自分の進路希望を実現するために大切なことを述べたいと思います。まず進学については、本校はほとんどの生徒が推薦を希望しています。それは一般入試よりも入試科目の負担が少ないので当然と言えます。ただ推薦には推薦基準というものがああり、それをクリアしなければ推薦は受けることはできません。大学や専門学校の基準だけ

ではなく、美瑛高校の基準もあります。ですから推薦入学を希望する生徒は一年生の時から成績、授業態度、欠席・遅刻について意識しなければなりません。就職希望者ももちろん成績が重要となりますが、それ以上に各企業が重視するのが「欠席日数」です。基本的な生活習慣が身につけていない生徒は企業側も信用して採用できないということはお分かりかと思いますが、あと最近高卒での就職で大きな問題となっているのは、早期退職です。就職後三年以内に離職する率が半分というデータもあります。

す。中々職場に馴染めず、相談する相手もないという人が増えてきているように思います。高校三年間でコミュニケーション力や協調性などをぜひ身につけてほしいと思います。

美瑛高校では特にキャリア教育を重視しています。一年生では「キャリア探求」という科目を設定し、美瑛町の企業や官公署などの協力を得て、全員のインターンシップを実施しています。この取組の中でアルバイトとは違う勤労観や働く意義について学んでいきます。また研修の成果をまとめパワーポイントでお世話になった企業や地域の方々に発表しています。これによってプレゼンテーション力も付いてきていると感じます。新年度からはこの「キャリア探求」を二年生でも設定します。一年生

で学んだことを土台にして進路学習・講演・企業訪問等の取組を行います。自己の向上に向けさらにステップアップさせたいと考えています。次年度もこれらの取り組みを充実させ、生徒全員の希望進路の実現に向け努力していきたいと思っています。今後とも学校の進路指導にご理解とご協力をお願いいたします。



▲進路ガイダンス

平成30年度第3学年進路決定状況（1/31現在） 在籍45名
北海道美瑛高等学校進路指導部

種	学校（企業）名	男子	女子	計
大 学	札幌大学	1		1
	札幌大谷大学		2	2
	北海道科学大学	1		1
	旭川大学	1		1
	北海道情報大学	1		1
小計		4	2	6
短 大	北星学園大学短期大学部		1	1
	拓殖大学北海道短期大学		2	2
	國學院大學北海道短期大学部		1	1
小計		0	4	4
専門学校	北都保健福祉専門学校	1		1
	札幌スポーツ＆メディカル専門学校	2		2
	吉田学園医療歯科専門学校	1		1
	旭川福祉専門学校		1	1
	旭川調理師専門学校	1		1
	みかしほ学園（調理2年）		1	1
	北海道立旭川高等技術専門学校	2	2	4
	北海道歯科技術専門学校	1		1
	北海道ファッション専門学校		1	1
小計		8	5	13
	自衛隊一般曹候補生	2		2
公務員		2	0	2
民間就職	びえいフーズ	2		2
	東川汎用機	1		1
	日総		1	1
	美瑛慈光会	1	1	2
	飯島組	1		1
	アートホテルズ旭川		1	1
	LEOC		1	1
	山本ビル		1	1
	ダイゼン	1		1
	浜塚建設工業	1		1
	旭川福祉事業会 ひだまりの里		1	1
	共立メンテナンス ラビスタ雪山		1	1
	サンデリカ		1	1
	道北アークス		1	1
	日本メディカルプロダクツ		1	1
	楽生会		1	1
小計		7	11	18
合計	進路決定者	21	22	43